

ロシアのウクライナ侵攻が与える影響

2023年3月の現場取材で見た戦争の実相

講師：佐々木 正明 氏

(ジャーナリスト・大和大学社会学部教授)

昨年2月に始まったロシア軍によるウクライナ侵攻は長期化の様相を見せ、実態がわかりにくくなってきた。そんな中で、2023年3月に戦下のウクライナ各地を訪れ、現地の様子を直接、取材。日本のメディアではなかなか網羅されないようなウクライナ市民の素顔をレポートする。戦争の行く末も見据え、日本社会への影響も考察する。



1971年、岩手県生まれ。大阪外国語大学(現・大阪大学外国語学部)ロシア語科卒業後、1996年、産経新聞社に入社。神戸総局を振り出しに、大阪本社社会部、東京本社外信部を経てモスクワ支局長、リオデジャネイロ支局長、運動部次長、社会部次長を歴任。2021年より現職。専門は「ジャーナリズム論」「スポーツ報道論」など。近著は『「動物の権利」運動の正体』(PHP新書、2022年5月)『外交と歴史から見る中国』(ウェッジ、2023年7月、共著)。2023年3月、戦時下のウクライナ各地を訪れ、現状を取材した。BSフジLIVE・プライムニュース、MBS・よんちゃんTVなどの報道・討論番組で国際情勢を解説。yahoo!ニュース公式コメントーターも務める。



日時：2023年12月15日(金) 16:05 - 17:35

場所：神戸市外国語大学 第二学舎 503 教室

対象：どなたでもご参加いただけます

入場無料
申込み不要